

Mag Gallery

MagCELLを利用した液膜法のサンプリング

MagCELLは赤外分光分析用の簡易型組み立てセルです。固定セルに入れることが困難な高粘度試料も二枚の窓板で挟むことで、簡便に測定することができます。また、測定後は簡単に窓板を外すことができるため洗浄も簡単に行えます。KBrの窓板をご使用の場合、洗浄にはクロロホルムなどの水を含まない揮発性溶媒をご使用ください。



MagCELL組み立て方法

①窓板をセットする



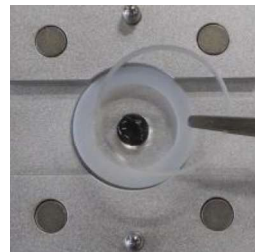
②スペーサーを置く



③試料を塗る



④もう1枚の窓板を重ねる



⑤カバープレートを被せる



⑥試料室にセットし、測定する



MagCELL組み立てポイント

○ 良い例



× 悪い例

光路に気泡が入っている
サンプルが光路から外れている



Master's Memo

- ・測定光路に気泡が入ると正しい強度が得られません。窓板を重ねた際、中央に気泡がないことを確認します。
- ・スペーサーを入れ厚みを調節することで、希薄溶液の測定も可能です。目的成分の濃度に応じてスペーサーの厚みを調整ください。
- ・水溶液を測定する場合、CaF₂、BaF₂、ZnSe窓板などを使用します(ただし、サンプルのpHにご注意ください)。